



表彰式後 作品を鑑賞する保護者と子どもたち

菅茶山 顕彰会 会報

第 33 号
茶山ポエム絵画展
30 回記念号
菅茶山顕彰会
2023 年 3 月 1 日

令和四年の回顧

菅茶山顕彰会会長 藤田卓三

令和 4 年は特筆すべき年でした。広島県教育奨励賞受賞、顕彰会創立 35 周年、松風館十勝碑林 15 周年記念誌発刊、茶山ポエム絵画展 30 回、福山城築城 400 年記念など。ウイズコロナ環境下ではあったが、年次総会と記念公演「郷土の偉人に想いを寄せて歌うー奥野純子氏」を開催できました。

特に築城 400 年協賛事業として、10 月には「菅茶山と福山藩」の関係をテーマに公開学習会を開催し、多数のご参加をいただきました。なぜ庶民に生まれ、青年時代は「政治批判詩を詠んだ菅茶山」が、晩年には「侍姿の肖像画」なのか、菅茶山を知ろうとする者には興味深いことであり、茶山研究と福山藩史の両面から学び、各自なりに考えるよい機会でした。

茶山ポエム絵画展は 30 回を迎え、菅茶山記念館主催となり顕彰会が共催団体になつてから 10 年です。この節目に、記念館と連携した特別プロジェクトを作り、温故知新を念頭に今後繋がるテーマに取り組んでいます。

一つは「記念誌」の発行です。30 年間の歴史、現状の記録、茶山ポエムなどを編集することで、絵画展関係者の参考になり菅茶山を知ろうとする方々の資料となるものをめざして現在制作中です。

また、顕彰会独自事業である移動絵画展をさらに充実し、各世代の人たちに茶山ポエム絵画を見ていただき、茶山漢詩や茶山に関心を深めてもらうことです。今年から神辺図書館の企画で「茶山ポエム絵画図書館展」が開催されたことは励みになりました。恒例行事の茶山学習会では「茶山ポエムとその原詩」について学び、茶山詩への理解を深めてゆきたい。

茶山 274 回目の誕生日は奇しくも「2022. 2. 2」という特異日となり、多くの人に覚えてもらえました。令和 5 年は「生誕 275 年記念祭」の年であり、会員各位のご協力を得て、菅茶山のすばらしさを知ってもらえるような記念行事を行い、菅茶山顕彰活動の更なる発展につなげたい。